

## TCハーフシェルター THF-340 取り扱い説明書

### 使用上の注意および禁止事項

この度は、本製品をお買上げ頂き誠にありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をお読み下さい。また、キャンプ先での不測の事態に備えて、ご出発前に必ず予行練習をしてください。尚、この取扱説明書は組立て後も捨てずに、大切に保管しておいてください。

#### 保管・点検・お手入れ



●本体のお手入れは柔らかい布等で拭いてください。しつこい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。



●テントの寿命は取り扱い方法によって変わってきます。夏など紫外線の強い時期に設営したまま放置すると生地が傷み、寿命が短くなります。又、濡れたままや、湿気を帯びた状態で保管したり、バッテリー液、ジュース等の酸や腐食性の溶液、及び殺虫剤、ヘアスプレー等を生地にかけると寿命は短くなります。

#### 組立て上の注意



●組立ては平らな所で行ってください。

#### ！注意 この警告を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う事故、及び物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

##### Check!

●ご使用の前に必ず家で試し張りをして、付属品の不足、縫製不良がないかチェックしてください。



●予備のペグ等は、常に用意しておいてください。ペグは設営場所の状況に応じた市販の物を購入して使っていただく事をおすすめします。



●設営前に地面を整地し、小石等の凹凸を無くしてください。



●キャンプサイトは平地、乾いた地面、水はけの良い場所、日当たりの良い場所、風の影響の少ない場所を選んでください。



●このテントは一般キャンプ用に規格されています。山岳用、又は常設用としてのご使用はお避けください。また、台風・集中豪雨・暴風時にはご使用を中止し安全な場所へ避難してください。



●天災時の不可抗力やお客様のお取扱い上の不注意、不当な修理・改造による故障、破損等は保証いたしかねます。



●テントの近くで焚火などの火を扱う場合には、テントに燃え移らないよう離れた位置でお願いいたします。



●本製品は防水加工が施されておりません。テントの張り方が弱く水が溜まつたり、長時間濡れたりした場合は雨漏りする場合があります。生地の一部を低く設営するなど、雨水の逃げ道をつくる対策を行ってください。



●ポールを放り投げたり、ぶつけたりして傷つけないでください。ポールの破損の原因になります。また、強風等によりテントが変形して一定箇所に負荷がかかりすぎた場合は、ポールに曲がり癖が付いたり、破損することになります。



●ご使用後のテントは日陰干しでよく乾かし、完全に乾いてから部品の数量を確かめて収納、保管してください。濡れた状態で放置されると、生地の色が他の部分へ移色する事がありますのでご注意ください。



●テントの破損を見発したらすぐに補修してください。その際は市販のテント用リペアキットを使用してください。



●ペグはしっかりと打ち込んでください。

#### ！警告 この警告を無視して誤った使い方をすると、人が死亡、又は、重傷を負う事故が想定される内容を表しています。



●テントの上に乗らないでください。落ちると危険です。



●使用時は組立て完了後、安全を確かめてからご使用ください。



●テント内での火器及び喫煙は危険ですので絶対にしないでください。

#### ！ 火気厳禁

#### お手入れの方法



1 テントの中のゴミやほこりを出してから片付けると後が楽になります。



2 テントのファスナーは砂を嚙んだりして壊れることがあります。そうなる前に汚れをよく落として滑りを良くする専用スプレーをかけてください。



3 ポールに泥や、海辺の塩分を含んだ砂や土がついたままになっているとさびの原因になります。ブラシ等でキレイに磨き落としてください。



4 ポールは設営中、常に大きな力を受けています。ポールを磨く際、曲がりや疲労した箇所がないかチェックしてください。



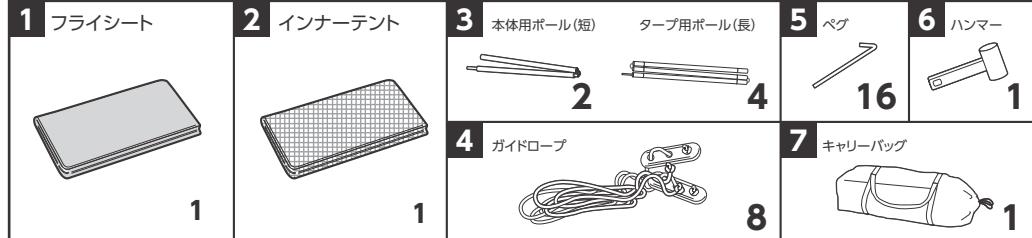
5 飲物をこぼしたり、過度な汚れは洗濯機の弱い水流で洗い、よく乾かしてから防水スプレーをまんべんなく吹き付けてください。



6 防水スプレーは、テントのメンテナンスには欠かせないものですが、有害な成分が含まれているので使用時は必ず風通しの良い屋外で行ってください。又、テント内に塗布する場合は換気には充分に注意を払ってください。

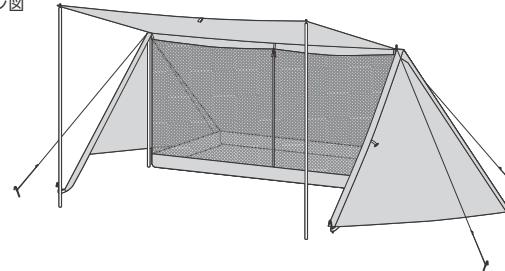
#### 部品明細

■まず、シートなどすべての部品を取り出し部品がすべて揃っていることを確認してください。



※付属品は、設置場所の状況に応じて市販の物を購入して使って頂く事をおすすめします。

#### ■完成イメージ図



本製品はフライシートのみでもご使用できます。

#### 品質表示

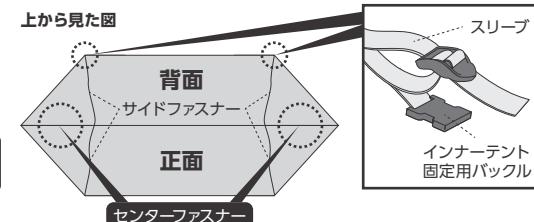
寸法 / (約)幅3400×奥行き1800×高さ1100  
(mm)  
構造部材 / ポール: (金属)スチール  
張り材 / ポリコットン(ポリエチル・コットン混紡)

#### 組み立て方

##### 1 本体の位置決め

設置場所を決め、フライシートを広げた後、センターファスナーを開けます。

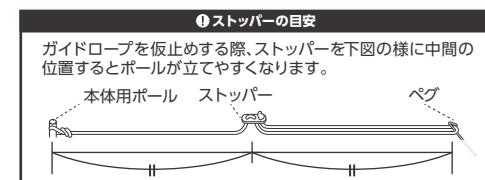
スリーブにインナーテント固定用バックルが付いている方が、背面となります。



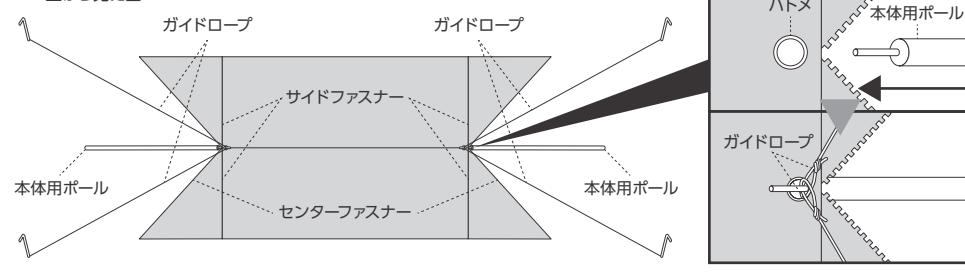
##### 2 ガイドロープ・ポールの取り付け

本体用ポールを組み立て、下図のように、左右にあるハトメに寝かした状態で差し込みます。次に、ガイドロープをポールの先端に取り付け、ペグで仮止めします。

サイドファスナーを閉めたまま、センターファスナーを開けた状態で作業してください。

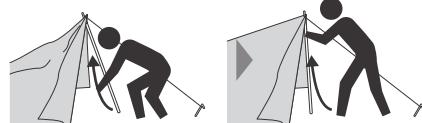


#### 上から見た図



### 3 本体の立ち上げ

下図のように本体用ポールを直に立ち上げます。反止めしているガイドロープを調整して、固定してください。反対側も同じように立ち上げます。



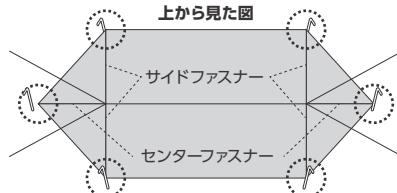
#### ① フライシートの調整

立ち上げ固定した後に、フライシート調整ベルトでフライシートの張りを調整してください。(6箇所)



### 4 本体の固定

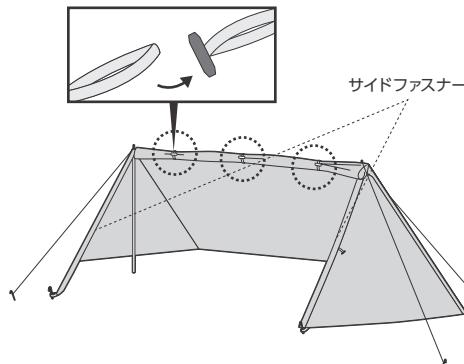
センターファスナーを閉め、右図のようにスリープをペグで固定してください。(6箇所)



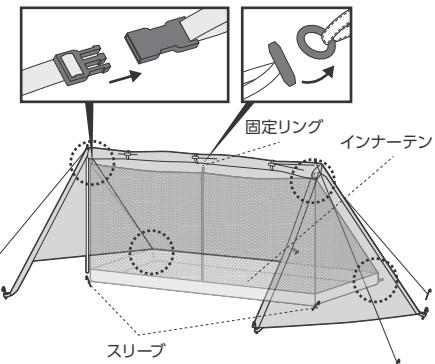
### インナーテントの取り付け

※本製品はフライシートのみでもご使用できます。

1 前側のサイドファスナーを開き生地を巻き上げ、固定します



2 インナーテントを広げ、下図のようにバックルを4箇所、固定リングを1箇所固定します。次に、前面のスリープにペグを打ち、固定します(2箇所)



### 出入り口の設定

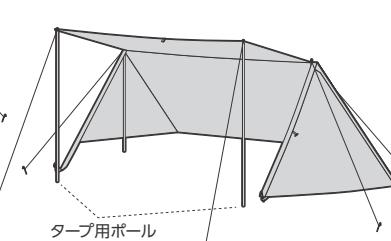
1 フライシートの前面、背面ともに、タープ用ポールを使用することにより、扉を上げることができます。

タープ用ポールを左右にあるハトメに差し込みます。次に、ガイドロープをタープ用ポールの先端に取り付け、ペグで固定します。

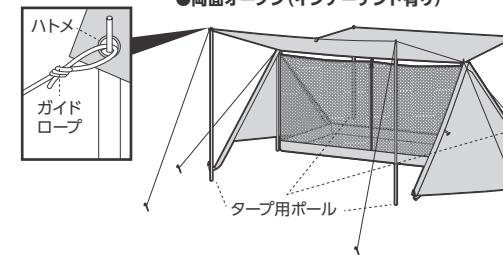
#### ●両面オープン



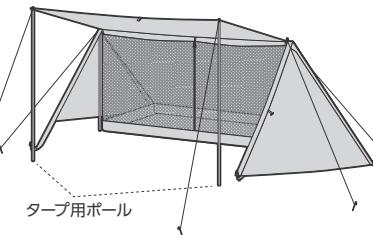
#### ●前面オープン



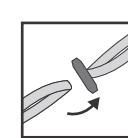
#### ●両面オープン(インナーテント有り)



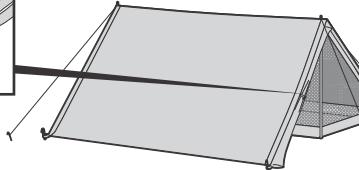
#### ●前面オープン(インナーテント有り)



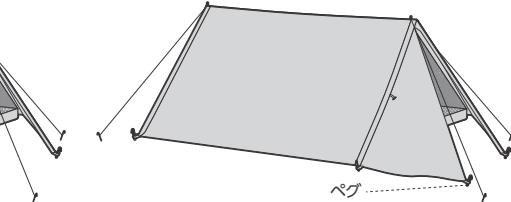
2 下図のようにセンターファスナーを開けて、出入り口を作ることもできます。



#### ●巻き付けて固定



#### ●ペグで固定

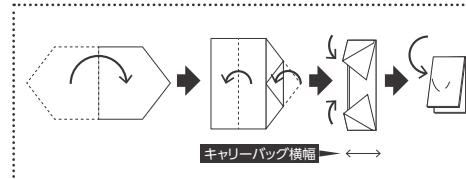


### 収納参考例 ●インナーテント、フライシートのたたみ方

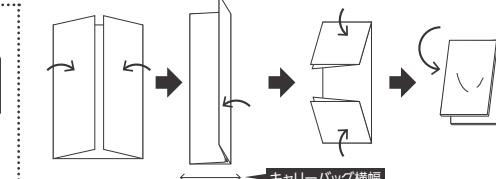
1 下図のように正方形に近い形に折り進めていきます。

フライシートの場合 横幅がキャリーバッグに収まるようにサイズを調整しながら、たたんでください。(フライシートは先にたたんでください。)

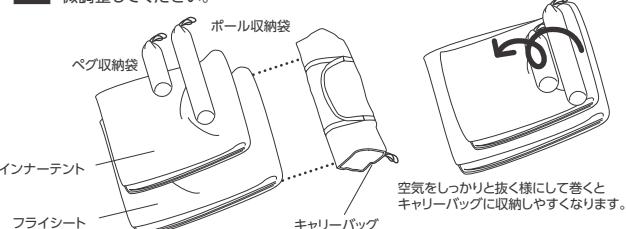
#### フライシートの場合



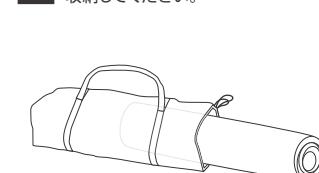
#### インナーテントの場合



2 下図の様に最終的に横幅がキャリーバッグの長さに収まる様に微調整してください。



3 最後にこの状態でキャリーバッグに収納してください。



当製品につきましてご不明な点がございましたらご遠慮なく下記までご連絡ください。



発売元 株式会社 山善 キャンパーズコレクション係  
お客様相談窓口フリーダイヤル  
[AM9:00～PM5:30土・日・祝を除く] 0120-069-060

※故障及びお問い合わせは、お買い求められた販売店までお申付けください。  
※本製品の仕様は改良の為、予告なく変更されることがあります。

その他の商品は右記のホームページをご覧ください。

[www.cc1996.jp](http://www.cc1996.jp)

商品のお問い合わせはホームページ「Q&Aコーナー」からも受け付けております。